

4. 地震の揺れと感じ方

◆気象庁震度階級



震度0

人は揺れを感じない。



震度1

屋内にいる人の一部が、わずかな揺れを感じる。



震度2

屋内にいる人の多くが揺れを感じる。眠っている人の一部が、目を覚ます。電灯などのつり下げ物がわずかに揺れる。



震度3

屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。恐怖感を覚える人もいる。棚にある食器類が音をたてることもある。



震度4

かなりの恐怖感があり、一部の人は身の安全を図ろうとする。眠っている人のほとんどが目を覚ます。つり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音をたてる。座りの悪い置物が倒れることがある。



震度5弱

多くの人が身の安全を図ろうとする。一部の人は、行動に支障を感じる。つり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の多くが倒れ、家具が移動することがある。



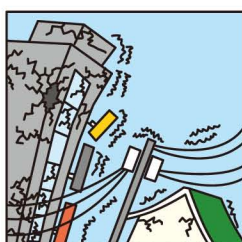
震度5強

非常に恐怖を感じる。多くの人が行動に支障を感じる。棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。テレビが台から落ちることがある。タンスなど重い家具が倒れることがある。変形によりドアが開かなくなることがある。一部の戸が外れる。



震度6弱

立っていることが困難になる。固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。



震度6強

立っていることができず、はわないと動くことができない。固定していない家具のほとんどが移動、転倒する。戸が外れて飛ぶことがある。



震度7

揺れにほんろうされ、自分の意思で行動できない。ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。